



稲田小だより

令和5年度学校だよりNo.3 令和5年6月号

回覧



6月8日、4年生が稲田橋下の河川敷で花植え活動に参加しました。稲田町内会の皆さんや国土交通省の方と一緒に、約2000株の花苗を植えました。

地域の一員として活動する大切さ ～自分事として捉え貢献する子ども～

校長 茂木 徹



今年、私たちが大事にしている2つの子どもの姿として、「自分からありがとうの気持ちを伝える。」「人からありがとうと言われる行動をする。」があります。この姿を目指すことで、教育目標「ひとの役に立てる子」に近づけると考えるからです。

折しも、6月8日、4年生が稲田橋周辺の花植え活動に参加させていただきました。私も、子どもたちと河川敷に足を運びました。そこにはすでに、稲田町内会の皆様や河川管理を担う国土交通省の方が集まり、花植えの準備をしておられました。

この活動は、すでに20年以上続いているそうです。その日、用意された苗は約2000株。かなりの数ですが、4年生の子どもたちは、気おくれすることもなく、一心に作業に励みました。ある子どもは「今までも稲田小学校の子どもがやってきたし、今年は自分たちの番だと思います。」と話してくれました。また、ある子どもは「花を植えることで関川がきれいになるのは嬉しい。」と言っていました。つまり、この活動自体が、子どもたちに地域の皆さんと力を合わせる大切さ、嬉しさを感じさせてくれていると思います。そして、何より、子どもたちに自分事として活動することの大切さ、貢献の思いを醸成させてくれることを実感します。

花植え活動を通して、「自分からありがとうの気持ちを伝える。」「人からありがとうと言われる行動をする。」姿を見せてくれた子どもたちを見て私も嬉しくなりました。



子どもの声

花植えを終わって、地域の方の話を聞いていたら、この活動は20年以上前から続いていることを知りました。その話を聞いて、私たちが植えた花を大切にしていきたいと思います。そして、関川をきれいにするために、ゴミを落とさないようにしたり、もしゴミが落ちていたら拾ったりして、関川や地域を大切にしていきたいと思いました。（4年生）



4年ぶり、全校が一同に会したスポーツの集い！

6月10日（土）晴天のもとスポーツフェスティバルを行いました

これまでの4年間、感染症予防のため、制限のある中でのスポーツフェスティバルでした。しかし、今年、ようやく全校児童がグラウンドに集い、スポーツを楽しむ場を設けることができました。そして、図にあるねらいを達成するために精一杯取り組みました。1～3年生の50m走、4年生以上の80m走。2学年が力を合わせて対決する団体種目や全校大玉送り。6年生を中心に自主編成した応援リーダーによる応援。久しぶりに熱気あふれるスポーツの祭典となりました。



- 低学年：「こころ にじいろ ダンシング玉入れ」
- 中学年：「引き込め！5色綱引き」
- 高学年：「稲田タイフーン2023」
- 全 校：「稲田っ子大玉送り」

当日は、全校児童のアイデアを生かしたスローガンを合い言葉に、子どもたちが躍動しました。

“きずな” 最後まで 全力 協力 笑顔



低学年：こころ にじいろ ダンシング玉入れ



中学年：引き込め！5色綱引き



高学年：稲田タイフーン2023



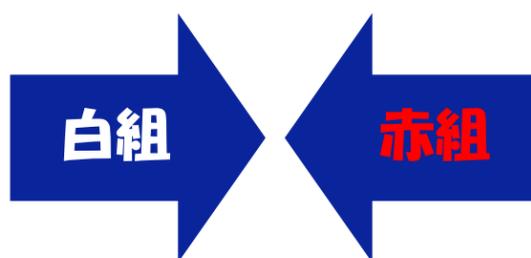
全力疾走！80m走



全校種目：稲田っ子大玉送り



全校種目前の応援歌熱唱



6年生応援リーダーによる
エール交換





スポーツフェスティバルを通して、子どもたちは様々な気付きを得ました。

○開会式代表者のめあて ○閉会式の振り返り から

～開会式 代表者のめあて～

【1年生】

私が一番頑張りたいことは、玉入れです。「チェツチェツコリ」を元気におどってから玉を入れます。2年生と協力して頑張ります。

【3年生】

スポーツフェスティバルでは、みんなで力を合わせて5色綱引きで勝ちたいです。今日一日、熱い気持ちで参加して、優勝したいです。

【5年生】

今年のスポーツフェスティバルのスローガンの中で、特に大切だと思うこと2つについてめあてを考えました。1つ目は、「きずな」です。全校種目の大玉送りでは、みんなで力を合わせて、最後まで大玉を落とさないようにしたいです。そのために、大きな声を出して、下の学年や友達にアドバイスしたり励ましたりします。2つ目は、「笑顔」です。高学年団体種目の稲田っ子タイフーンでは、勝ったとき、みんなと全力で喜び、笑顔いっぱいになります。たとえ負けたとしても、笑顔で拍手できる自分でいたいと思います。勝っても負けても最高の笑顔で終えたいです。



～閉会式 代表者の振り返り～

【2年生】

私のめあては、全力で競技に取り組むことでした。低学年種目は、「ころ・にじいろダンシング玉入れ」です。この玉入れは、1年生が玉を投げ終わったら、2年生がスタートします。1年生の思いをつなぐために、私は全力を出しました。結果は、負けてしまいました。でも、自分なりに全力を出せたので、よかったと思います。今年は、昨年できなかった「応援」もできたので、白組のみんなで力を合わせることができました。とても楽しいスポーツフェスティバルでした。ありがとうございました。



【4年生】

ぼくは、5色綱引きの練習を頑張ってきました。3年生と協力して作戦を考えたり、大きなかけ声をかけたりしました。今日は、最後まであきらめず、みんなで力を合わせて頑張れたと思います。結果は負けてしまいましたが、一生懸命頑張れたのでよかったです。



【6年生】

コロナも5類に引き下げられ、マスクを外して運動ができ嬉しく思います。私は、スローガンにある“絆”を意識して取り組みました。その一つ、応援歌づくりでは低学年が歌いやすいように歌詞を考えました。大玉送りでは、人と人の距離を縮めて並ぶように声掛けしました。みんなも私の指示に従って協力してくれました。今日のスポーツフェスティバルができたのも、保護者や先生方の協力があったからです。小学校生活最後の年に最高のスポーツフェスティバルができて大変嬉しく思います。

6年生がプール清掃をしてくれました。(5/30 学校プールにて)

毎年、プール開きを前に、6年生が貢献活動として、プールの清掃を担ってくれています。おかげで、6月下旬に始まる水泳学習の準備が整いました。



5年生 妙高での自然教室 ～仲間との絆づくり 5/25～26～



コンパス頼りにひたすら直進するストレートハイク
 動を通して、仲間と協力したり、新たな気づきを得たりする貴重な機会となりました。

5年生は、クラス替えのあった年度始めに、仲間づくりを目的として宿泊体験活動を行っています。

今年も妙高青少年自然の家で1泊2日の体験を行いました。様々な活



仲間と協力!妙高アドベンチャー



盛り上がったキャンプファイヤー

【自然教室の振り返り】(5年生)

ぼくは、自然教室で色々な事を学びました。ストレートハイクで仲間に声を掛けたこと。逆に仲間から声を掛けてもらったこと。協力し合ってゴールできて友情を深め合えたと思います。妙高アドベンチャーでも協力し、みんなで成長できたと思います。ごはん作りもみんなのために頑張りました。

3年生 大ケヤキへの施肥体験 (6/14 諏訪神社境内)



3年生は総合の学習で稲田地域の素晴らしさを見つける活動に取り組んでいます。その一つとして、学校隣の諏訪神社の大ケヤキの成長を支援する施肥作業(穴を掘って肥料を埋める)を町内会・保存会の皆さんの手ほどきのもと体験させていただきました。



学校生活アラカルト ～こんな勉強をしました!～

- 6年生「租税教室」…高田税務署の方から税金の仕組みについて学びました
- 3年生「自転車教室」…安全教育指導員の皆さんから、手ほどき受けました



1億円のレプリカを見てびっくり!



グラウンドのコースで実地指導

